



2020年4月14日

プレスリリース

フィリップ モリス ジャパン合同会社

※本プレスリリースは、2020年4月9日午前6時33分(東部標準時)に発表された英文プレスリリースの翻訳であり、万一日本語と英語に齟齬が生じる場合は原文である英語が優先されます。英文プレスリリースは以下のリンクからご確認ください。

<https://www.pmi.com/media-center/press-releases/press-release-details/?newsId=22336>

フィリップ モリス インターナショナル、 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行期間における

従業員保護の方針を発表

全従業員を対象とする保護の指針を策定

2020年4月9日—フィリップ モリス インターナショナル(以下 PMI) (NYSE:PM)は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の間も従業員の雇用と安心を守るために、全社を挙げて取り組む重要な指針を策定しました。この指針には、「雇用の安定」「収入の安定」「特別報奨」という3つの主な内容が盛り込まれています。

PMI のアンドレ・カランザポラス最高経営責任者は、次のように述べています。「PMI はグローバル企業としての社会的責任に鑑み、この新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の収束に向けて当社に可能なあらゆる対策を継続していきます。当社としては何よりもまず、当社の従業員とその家族を支援し、安全と健康を守る取り組みを最重要責務と位置づけ、これを続けていく方針です。世界各地で工場勤務・外勤・内勤・研究所勤務にあたる従業員、在宅勤務を行っている従業員の力によって、今回のような前例のない危機的状況下でも当社のビジネスは最大限平時に近い状態を維持できています。」

今回発表された指針の適用期間は、PMI がほぼすべての内勤従業員に対して在宅勤務を指示した2020年3月16日から、危機的状況を脱し十分に収束したことをPMI が確認するまで継続されます。

雇用の安定: PMI は、この危機的期間を通じて一切の従業員の雇用を正当な理由なしに解除しないものとします。さらに、組織構造改革計画はすべて休止とします。

収入の安定: PMI は全従業員に対し、今回の大流行期間中に自身に課された職務を完全に履行できるかどうかに関わらず、平時の給与を継続して支払います。

特別報奨: 各地を管轄する法令で認められている場所に該当する勤務先(工場・倉庫・外勤先・内勤先)に物理的に出勤することが必要な PMI の従業員には、この危機の期間中特別報奨を支給します。もちろん、これらの場所で勤務するすべての従業員を保護するために必要なあらゆる安全措置を、PMI は今後も継続していきます。

PMI のチャールズ・ベンドッティ人事担当上級副社長は、次のように述べています。「当社には、危機的状況にも耐えられる強さがあります。これは、世界全体で 73,000 人を超える従業員に対する約束でもあります。私たちは、一丸となって協力、連携することでこの世界的な危機を乗り越え、さらに強くなることができると信じています。」

PMI が打ち出している従業員保護の方針は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行に伴って影響を受けている各国において実施している包括的な支援活動の重要な一部です。

今回の新型コロナウイルス感染症の流行初期から積極的な対策を続けている PMI は、従業員が居住、勤務する世界 60 か国以上で、資金や物資の寄付、各地でウイルスと戦う活動や大きな影響を受けた層を支援するボランティア活動など、さまざまな取り組みを実施しています。具体的には、取引先への衛生用品の提供、医療福祉関係者への支援、新型コロナウイルス感染症の対策に必要な不可欠な物資の調達支援、大流行の収束に向けて活動している研究機関や NGO への資金援助などが挙げられます。さらに、PMI の従業員が多くの国で高齢者・低所得者層など社会的に弱い立場にある人々を支えるボランティア活動に従事するほか、一部の工場を利用して地域が必要とする消毒液やマスクの生産を行っています。

今回の新型コロナウイルス感染症対策に関連して、これまでに PMI が決定した支援活動の総額は 2,400 万米ドルを超えました。今後も引き続き、事業を展開する世界各国で必要とされる支援の動向に応じて支援活動を拡大していく方針です。

報道関係者用問い合わせ先

フィリップ モリス ジャパン合同会社

エクスターナル リレーションズ 小笠原/下垣

TEL 03-3509-1715 | FAX 03-3506-7730 | E-MAIL pmj.press@pmi.com

PMJ の企業ビジョン「煙のない社会」の実現に向けて

PMJ は、フィリップ モリス インターナショナル(以下 PMI)の日本における子会社です。日本で販売される PMI 製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。PMJ は 1985 年に日本で営業を開始して以来、着実に成長を遂げ、今日、全国に約 1,900 人の従業員を擁し、日本のたばこ市場で約 34.0%のシェアを有する、加熱式たばこ市場を牽引する日本第 2 位のたばこ会社です(2018 年末現在)。企業ビジョンである「煙のない社会」の実現に向けて、PMJ は紙巻たばこよりも「リスク低減の可能性のある製品」を主力に事業活動を加速しています。

PMI は、「煙のない社会」の実現を目指し、今後もたばこ製品を使い続ける成人喫煙者にとって、公衆衛生の観点からの社会全般と様々なステークホルダーにとって意義があり、科学的に立証された代替製品を提供すべく、紙巻たばこ全てを煙の出ない製品へと切替えることを目指し、たばこ業界においてトランスフォーメーション(変革)を推進しています。PMI は、米国以外の地域において、紙巻たばこ、煙の出ない製品と関連する電子機器・アクセサリ類またその他のニコチンを含む製品の製造と販売を行っています。PMI は、FDA(米国食品医薬品局)より米国内における販売の許可を得ている IQOS(プラットフォーム 1)のデバイスとたばこスティックに関してライセンス契約を締結しているアルトリア・グループに出荷しています。

PMI は、依存性がありかつリスクフリーではないものの、紙巻たばこを喫煙し続けた場合と比較してより良い選

択肢である煙の出ない新しい製品カテゴリーの構築や科学的立証を企業活動の主軸としています。多岐の専門分野にわたる世界有数の製品開発能力や設備、科学的実証能力を有する研究開発センターにより、PMI は、煙の出ない製品が成人喫煙者の好みや厳しい規制条件に合致することすることを目標としています。煙の出ない製品である IQOS 製品群には、加熱式たばこやニコチンを含む e ペイパー（電子たばこ）製品があります。2019 年 12 月 31 日現在、PMI の加熱式たばこ製品は、IQOS ブランドのもと、世界で 52 の市場における主要都市や全国で展開しており、約 970 万人の成人喫煙者が喫煙を止め、PMI の煙の出ない製品へ切替えたと推定されています。PMI のウェブサイト(www.pmi.com)および PMI サイエンス(www.pmiscience.com)をご覧ください。

RRP (Reduced-Risk Products: リスク低減の可能性のある製品) は、紙巻たばこの喫煙を継続した場合と比較して、同製品に切替えた成人喫煙者にとって害のリスクが少なくなるか、少なくなることが見込まれるか、又は少なくなる可能性のある製品を指すものとして私たちが使用している言葉です。私たちのもとには、開発、科学的評価、市販化といった異なる段階にある様々な RRP が存在します。私たちの RRP はたばこ葉を燃やさないため、発生させるエアロゾル(蒸気)に含まれる有害および有害性成分の量が紙巻たばこの煙に含まれる量と比較して、はるかに少なくなっています。